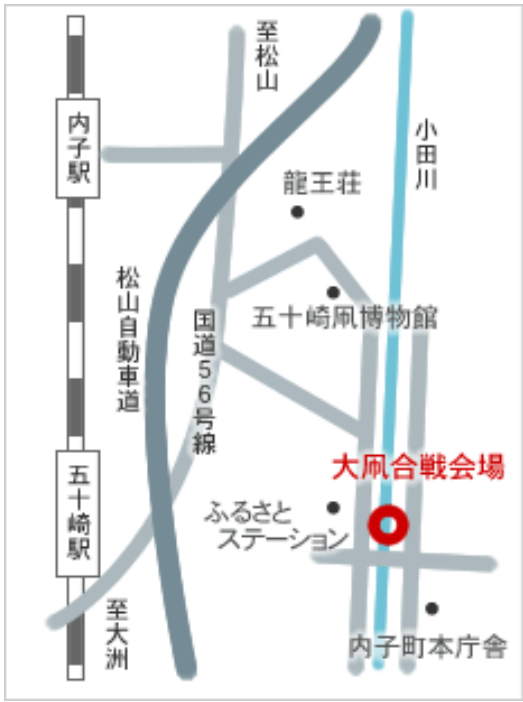


観光社会資本の事例

テーマ	ふるさとの川づくりを実施した小田川
【施設の状況写真】  「スポーツ・レクリエーションゾーン」の整備状況。イベント広場やスポーツ広場として多くの人に利用されています。  「野っばら・田園ゾーン」の整備状況。生物の良好な生息・生育環境の保全・復元に配慮した河川整備を行っています。	
【施設の利用写真】  「イベント・レクリエーションゾーン」で行われている「五十崎大風合戦」  「親水ゾーン」で野外活動中の小学生	
【観光資源としての利用状況】 小田川は肱川の支流で、四百年の伝統を誇る大風合戦の舞台として知られるほか、流域では清流を利用した手すき和紙が産出されるなど伝統文化発祥の地であります。この小田川を中心としたまちづくりの一環として、良好な水辺空間を形成するため、平成元年度から平成8年度までふるさとの川モデル事業で河川敷の整備を行いました。毎年5月5日には河川敷を利用して、日本三大風合戦の一つである「五十崎大風合戦」が行われるなど、観光資源として利用が図られています。	

テーマ	ふるさとの川づくりを実施した小田川
【社会資本の基礎データ】 ○名称 小田川 ○所在地 愛媛県喜多郡内子町 ○事業名 ふるさとの川モデル事業 ○事業主体 愛媛県 ○事業期間 平成元年度～平成8年度	
【社会資本の役割・効果】 ○親水効果 小田川は、ふるさとの川モデル事業により山王橋から上流竜宮堰までの2.1km区間の河川敷を「野っばら・田園ゾーン」「スポーツ・レクリエーションゾーン」「親水ゾーン」「イベント・レクリエーションゾーン」に分けて、河川改修と合わせた「多自然型川づくり」を実施した。整備区間は、大風合戦などの伝統行事や、いもたき・花火大会などのイベント、またキャンプや野外活動の場として広く利用されています。 ○治水効果 小田川については、昭和18年、昭和20年の洪水被害を契機に、昭和26年度より全体計画L＝9、150m区間において河川改修を実施しており、これまでに本川の堤防整備が完了しているため、近年大きな浸水被害は発生していない。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 内子町・観光情報 http://www.town.uchiko.ehime.jp	